

薄幸な憧れの女性を魅力的にして奪うまでの話

薄幸な憧れの女性を魅力的にして奪うまでの話





AM
8:00



もうこんな
時間かあ…

ふああああ…



でももうちょい仕事
進めないといけないし

眠気覚ましにコーヒー
でも買ってくるか

ズズ

俺の名前は木場公(きばあきら)
エロ漫画家として生計を立てている

ここ数日徹夜だったけど
もう少して今回の原稿も終わる
あと一踏ん張りだ!!

木場さん!
おはよう
ございます!!

ふちゅちゅ

!

ザキザキ

あつ…!?
おっ…おはようございます
小嵐さん!!

ここに越して来た時から
親切にしてもらっていて

初めての一人暮らし
なんですか? 良いですねえ
何か分からない事があれば
何でも聞いて下さいね

まあ…漫画家さん
なんですか 凄いですね
私も昔趣味で少しだけ
描いてた事があるんですよ

俺より年上だけど(36歳らしい)
その素朴でふんわりとした
雰囲気がとても接しやすく
それに飾らない綺麗さも相まって

この女性はお隣さんの
小嵐伊純(こあらしいずみ)さん

相手が既婚者にも関わらず
俺は憧れというかほのかな
恋心を抱いていたのだった

眠そう…また
徹夜ですか?

ええ…
まあ…

おい!! 伊純!!
どこだ!?

早く鞆を持って来い
仕事に遅れたら
どうする!!

す…すみません
今玄関を掃除
していて…

まったく使えない女だな…
何のためにここに置いて
やってると思ってるんだ

あの…今日
お夕飯は…

いらん!!

ふん!!

ねえ『おばさん』さあ…
そこ邪魔なんだけど

あつ…!?!
ごめんなさい…

あとその不景気な顔
あんま外に出さないで
くれる? 自分の親が
そんななの恥ずかしい
からさそんじゃねえ

え…あ…い…
いつてらっしゃい…

……

しかし彼女の家庭内での立場は
とても低いみたいで…
傲慢な旦那は彼女を下に見てるのが
明白で愛人の噂も聞いた事がある
息子も生意気で彼女を母親扱い
していない様子――

何かすみません…
恥ずかしい所を
見せちゃいましたね

あ…いえそんな…

伊純さんは全然悪くないのに…
彼女の暗い表情を見た俺はつい…

あのよろしければ
気分転換にコーヒー
でも飲みに行き
ませんか？

え？
で…でも…

やった!!
伊純さんを
誘えた!!

あつ…部屋に忘れ物…
すいませんちよつと
待って下さい

はい

俺は急いで身なりを整えて
伊純さんと近所のカフェへ出かけた

うわ…
髪ボサボサ…
ヒゲも…

俺も今眠気覚ましに
行く所だったんですよ
少しお話とかすれば
気も晴れるかもしれ
ませんし

あ…余計なお世話
じゃなければ
ですけど

いえいえそんな事は!
うーんそうですね…
たまには気晴らしも
良いかもしれませんね



あ！美味しい！
最近のカフェってコーヒー
だけでも色々あるんですねえ

本当ですね！実は俺も
ほとんどコンビニのコーヒー
ばかりだったから新鮮です



世間話から徐々に話題が膨らみ
会話の内容は家庭の事へと――
彼女も不満を発散する場が
欲しかったのだろう

俺は思わず伊純さんが
漏らしてしまった
悩みを聞く事になった



どうやら旦那さんが愛人を
作ってるのは当然の様に
彼女にも知らせているそうで

不満があるなら出ていっても
良いと判の押された離婚届まで
突きつけられた事もあるらしい



そんな父親の姿を見て育てば
息子もああ育つというもの…

何だそりゃ…無茶苦茶だ…



何でそこまでして一緒にいるんですか？そんな家庭環境…絶対おかしいじゃないですか！



お恥ずかしい話なんですけど
専業主婦という事もあって
私はほとんど貯金が無くなって…
あそこを出たらどうやって
暮らしたら良いか…

父も母も私が若い頃に
亡くなってその後遠い
親戚に引き取られて—



その結果性格に難ありで結婚も
出来なかったその家の息子と
婚姻を結ぶ事になったとの事…

私も本当…

この先どうしたら
良いのか…



そういえば小嵐さんって前に
漫画描いてたって言ってましたよね？
よろしければ僕の所でアシスタント
してみませんか？

そしたら気晴らしになるかもですし
アシ料はきちんと払いますので
貯蓄が出来れば今後の選択肢も
増えると思うんです



そう呟く彼女の諦めにも似た
苦笑に俺は心が苦しくなった

そしてこんな提案を彼女に
ぶつけてみたのだった



え…そんな私なんか…
だって本当にいわゆる同人誌を
学生の頃友達と描いた位で…

同人からプロになるなんて普通
ですよ！前に描いた原稿とか
残ってないですか？それを見せて
もらえばどんな作業が出来るか
と分かると思いますし



じゃ…じゃあ…
そうですね…
一度見て頂くだけでも
お願い出来れば…

そういう流れで彼女は
俺の部屋に来る事になった

全然上手じゃないですか！
背景もきちんと描けてるし
これだけ出来れば十分ですよ

え…えへへ…
そうですか？プロの
先生にそう言ってもらえ
ると嬉しいです

あ……と…
それで…俺の描いてる
漫画なんです…

先に言えば
良かったですけど…

え…エツチ
な漫画？

すみません…小嵐さん
そういうの読まないです
よねさっきは僕も切羽
詰まっちゃって言うの
忘れてて…

あ…いえいえ…ちよつと
驚きましたけど実は私も
その…今で言うBLみたいな
漫画も描いた事があって…

全然大丈夫ですよ

え？そうなんですか？
それは意外でした

あはは…何だか
恥ずかしいです

照れた顔も
可愛い…!!

それからの日々は
まるで夢のようだった

憧れの女性と
同じ空間で仕事



先生 背景これで 良いでしょうか?

あー良いです バッチリです!

何という 素晴らしい時間!!

俺のアシは他にもリモートで
手伝ってくれる陽菜(ひな)ちゃん
という女の子がいて

わあ！
そうなんですネー
是非お願いします♪

あ！私もそのカフェ
よく行きますよ
今度新作が出るみたいでー
一緒に行きましょうよ！

その娘との会話も弾んでいる
みたいで伊純さんは笑顔も
多くなってきた

え?

あ...もうこんな時間...



まだお昼過ぎですけど
今日は何か予定とか
あったんですか？

あ…いえ…ここって本当に
楽しくてあつという間に
時間が過ぎちゃうので

残り数時間でも
少なく感じちゃって…

帰りたく
ないなあ…

Heaven

ニギニギ

引越して来た時から
優しくしてもらって
それに凄く魅力的で…

言ってしまった…

僕もずっといて欲しいです
あんな家に戻るよりずっと
ここに…俺…ずっと小嵐
さんの事が好きで…

ニギニギ

ギュー

えっ!?
せ…先生…?

え?先生?私?
あれ…告白されてる?!

ギュー

ギュー

こんな私が…
魅力的!?

で…でも私…こんな
年増で色気もない
ですし…

それに…

そんな事無いです！
小嵐さんは僕が今
まで出会った中で…

一番魅力的な
女性ですッ!!!

凄い…胸がこんなに
ドキドキして今まで味わった
事のない間隔…高揚感…

突然こんな事言わ
れたら迷惑ですか？

いえ！そんな事
無いです…正直…
嬉しいです…

そんな事言われたら
私…私…ッ!!

シキシキシキ

あつ…あの…やっぱり
こういうのはその…不倫に
なってしまうすし…

!

先生の事は嫌いじゃ
ないです…というか…
むしろ…好きですけど…

じゃ…

そしたらより早くあの家から
独立出来て自由になれますし…
でも勘違いして欲しくないのは
お金で体をとかじゃなくて

俺は本当に小嵐さん
に憧れていて…
好きで…!!

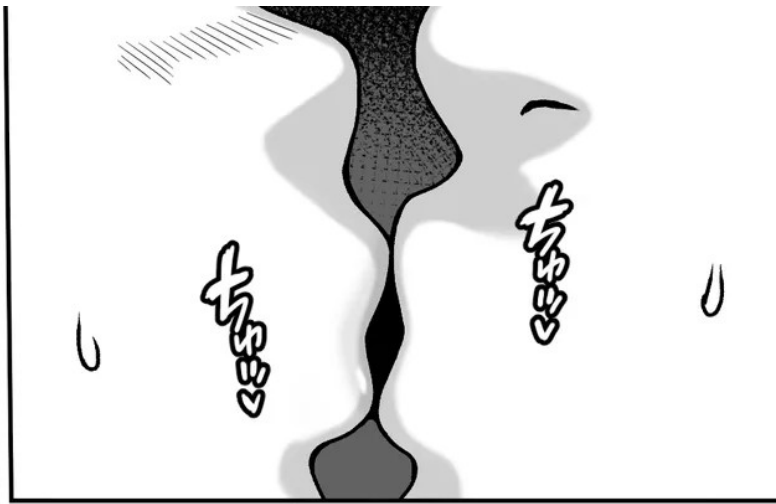
じゃあこういうのは
どうですか？俺の仕事の
手伝いという事で…

アイデアを湧かせる為の
きっかけだったり漫画の
描写にリアリティを
持たせる為の『取材』という事で

そんなに
真剣に言わ
れたら…
私…♡

それに対する報酬も
追加で支払いますので

はいはい！
じゃあ…





私に出来る事なら何でも
おっしやって下さる...

アシスタントとしてのお手伝いなら...そうですね...
何でもするべきですよ



こ...小嵐さん...



伊純さんの胸ツ!!

胸...夢にまで見た...

やっぱり少し...
恥ずかしいですね♥

は...は...



小嵐さんッ...

お...お...

小嵐さんッッ



たまんねえツツ!!

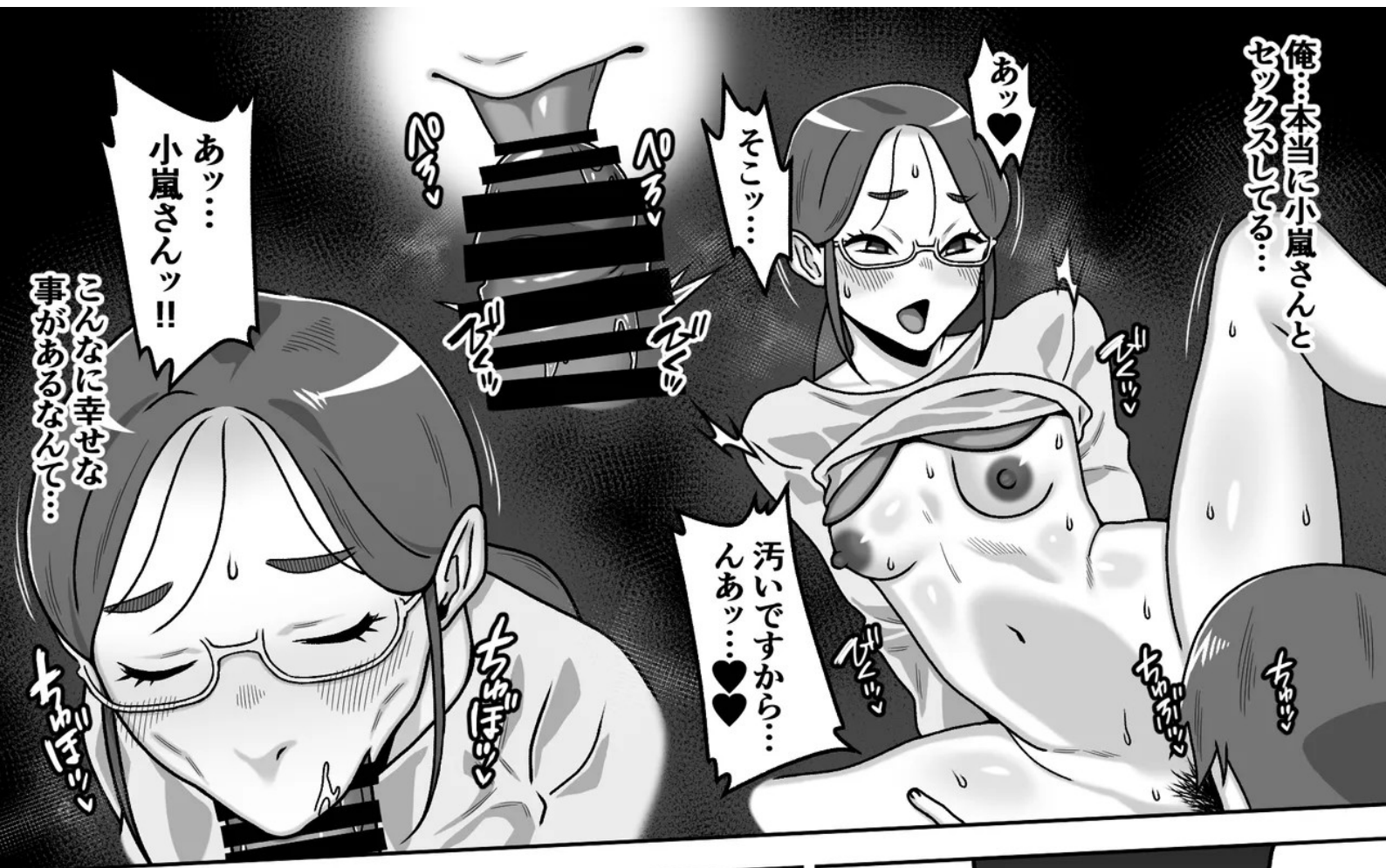


あったかくて
良い匂いがして...

汗の味がする...



あ...あの...胸...
直接良いですよ♥





ゆッ…夢みたいだッ!!
憧れの小嵐さんとこんなッ
本当に夢みたいですッ



小嵐さんとっても良い
匂いがして…中凄く
あったかくて…俺ッ…
頭の中までとろけ
ちゃいそうですッ!!

こんなに求められるの初めて…
旦那との子作りも義務的な
感じで妊娠が分かれればまた
すぐ愛人の元へ…

年上の私の事をこんなにも求めて
くれる先生がとても可愛くて
愛おしい…それにセックスなんて
ずっとしてなかったら体が…

小嵐さんッ…俺ッ…
もうイッちゃいそう
です…ッ…!!



凄く熱く火照って
気持ち良いッ♥♥
いっぱい…いっぱい
欲しいッ!!!



小嵐さんの肌に…
陰毛にも絡んで凄く卑猥だ…

小嵐さんにめっちゃぐちゃ
出してしまった…俺の精液が…



先生…もう…
良いんですか？

えッ!?



まだ今日のお仕事の…
お手伝いの時間『沢山』
残ってますし…

もっとな…

いっぱいして
欲しいな…♡

私に出来る事なら何でも…
して良いですよ…♡♡



小嵐さん…

あ…
あと呼び方…

え？

小嵐…苗字じゃなくて
出来れば…名前の方で…
苗字で呼ばれるの実は
あんまり…

いっしょ…

いっしょ…いっしょ…

伊純さんッ!!

んんッ♡♡

気持ち良い…あの人みたいに
事務的じゃなくて求め合う…
愛し合うセックスがこんなに
気持ち良いなんて…♡♡

あはッ♡

名前で呼ばれる度に頭の
奥がジンジンして…私…
もうッ…♡♡

家の事が好きじゃないのもあるんだろうけど
俺が伊純さんを名前で呼ぶ度に彼女は
俺を強く抱きしめアソコもギュウギュウと
締め付けてきた

伊純さんの体温湿度…彼女の体から分泌される
全部が魅力的で俺はそれらを必死で味わった…

んむッ!?

~~~~ッ…!!!

ぐいっしょ…

あーッ

あははははは

ギョッラッ

伊純さんッ…  
また俺イキますッ…  
もう出ますッ…

ガッ

!? 伊純さんッ!?  
出るッ…出ちゃい  
ますからッ!!



はあ...はあ...  
伊純さん...

せんせ...ごめんなさい...  
私...あんまりにも気持ち良くて  
つい抱きしめちゃって...中に...



あ...いえ...  
最高でした!

めちゃくちゃ  
気持ち良くて  
俺凄い興奮し  
ちゃって...



嬉しい♥♥先生さえ  
良ければ...

もっと...♥♥







カキ

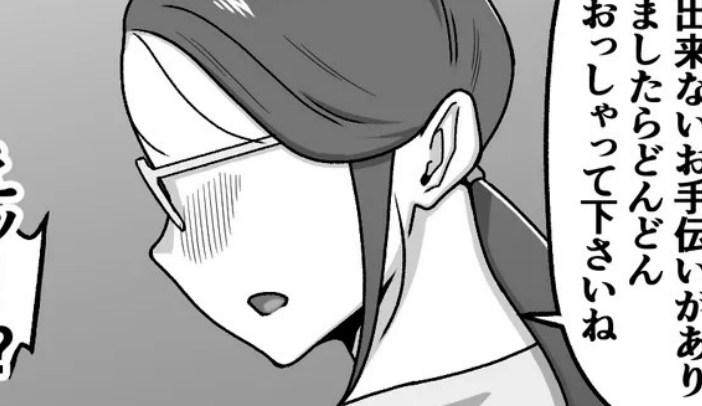


主ゆち

あ…もうこんな時間… 私そろそろ帰らないと…

は…はい…あ… 俺達二時間も…

は……はい……あ……  
俺達二時間も……



えッ...!!?

あの...先生...  
また私に...『私にしか』  
出来ないお手伝いがあり  
ましたらどんな  
おっしゃって下さいね

えッ……!?

これはその...  
お手伝いなん  
ですから...

先生が試してみたい  
事などがあれば...  
『何でも』...♡♡

先生が試してみたい  
事などがあれば…  
『何でも』…♡♡

は...はい...  
お疲れ様でした

それでは先生  
お邪魔しました

は：はい：  
お疲れ様でした

あの日から…『伊純さん  
にしか出来ないお手伝い』  
が増えていった

はーい

はい

伊純さん今日の髪型  
凄く似合ってますね！  
綺麗です

そ…そうですか？えへへ…  
陽菜ちゃんに教えてもらって

どうぞ上がって  
下さい

はい  
お邪魔します

どうですか？  
流石にこれ着るの少し  
恥ずかしかったです

はーい

だって…家からずっと着て  
たから乳首とかこすれて  
変な気分になっちゃって…

伊純さん凄く色っぽいです  
それにもうじっとり汗かいて  
蒸れたHな匂い…

はーい

これも先生のお手伝い  
になりますか？

すーっ

あッ

勿論です…  
凄く魅力的な姿で  
とても興奮します

はーい

この興奮が最高の  
ネタ出しになって…  
伊純さんとした事も  
沢山浮かんできて…

次回作の意欲にも  
繋がりますッ！

はーい

んっ♡  
なら良かったですもって  
私で試したい事おっしゃって  
下さいね♡  
伊純さんの口から  
発せられる甘美な言葉  
俺は夢中になって彼女に  
欲望をおつけていった

あッ…伊純さん  
それッ凄く気持ち  
良いですッ!!

うふふ…  
これこれふか♡

先生のおち○ちんはち切れ  
そうな位パンパンになってるり

私…こんな大胆な格好で  
旦那にも見せた事ないような  
惚けた顔して…

先生には何でもして  
あげたくなっちゃう♡

いッ…伊純さんッ  
そんなにされたら

俺…すぐに  
出ちやいますッ…

うふふ♪どうしましょうか?  
このまま口に出して頂いても  
良いですし顔に出しても…

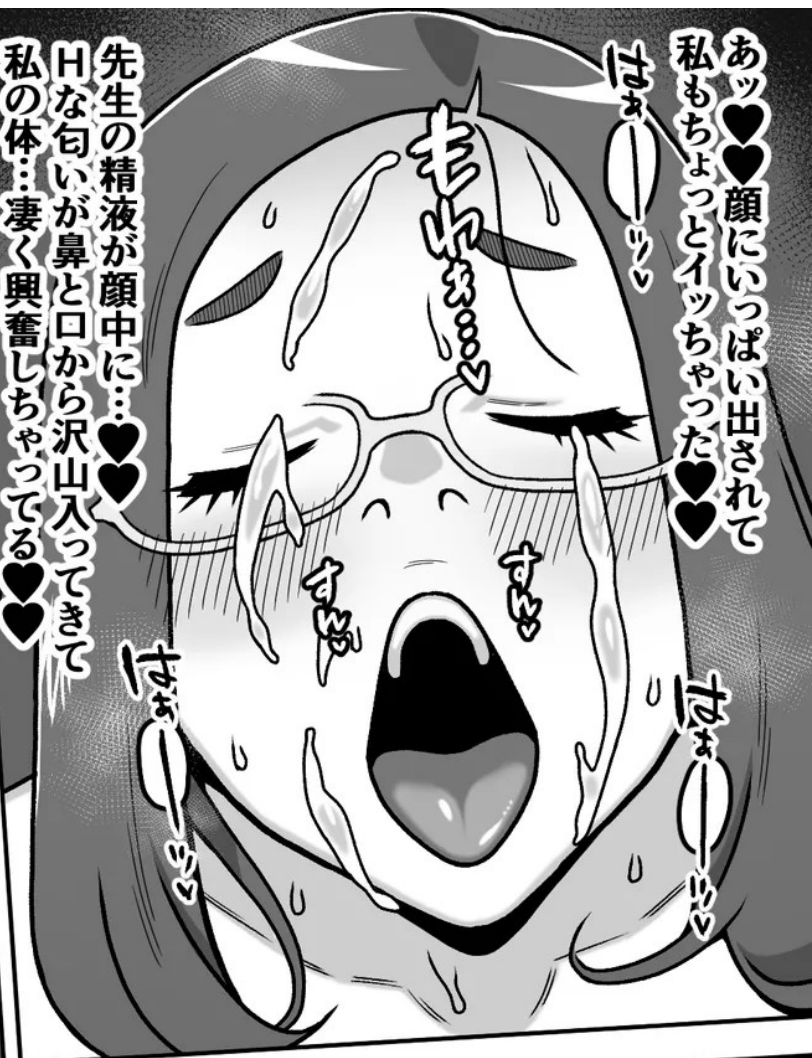
旦那にもかけられた事  
がない私の顔にたっぷり  
精液かけて下さっても  
良いんですよ♡

私…凄くいやらしい  
事言っちゃってる♡

あッ…顔ッ…伊純さんの  
顔ッ…伊純さんの綺麗な  
顔に出したいですッ!!  
伊純さんの顔に精液…ッ

あッ…あッ…  
出るッッ!!





俺はますます伊純さんに夢中になり  
彼女の心も体も食欲に求めていった...

これが伊純さん  
の...お尻の穴...

は...恥ずかしいです...  
あんまりじっくり  
見ないで...♥

ほ...本当に  
良いですか?

ちよつとドキドキしますがけど  
良いですよ...入れて下さい♥

伊純さんのお尻...  
アナルツ...  
気持ち良いですツツ

うふふツ♥♥  
私のアナル処女...  
先生に捧げちゃい  
ましたね♥♥♥

は...  
は...

は...



先生どうされました？  
私の手をじーっと見て…



えう…指輪ですか？

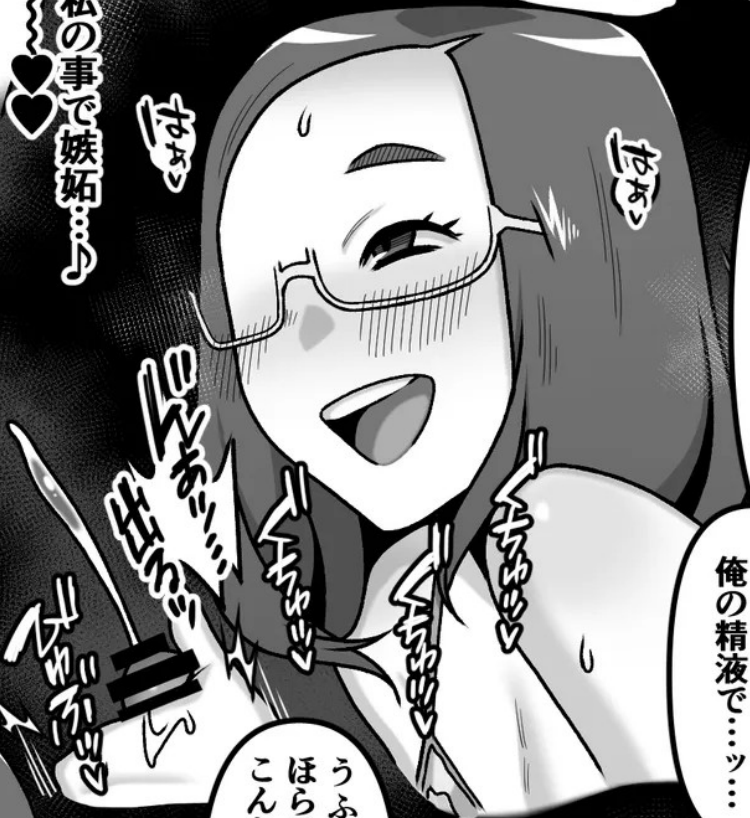
先生…私の事で嫉妬…  
可愛い♡♡



何かこれが伊純さんの事を  
大切にしない旦那さんとの  
枷みたいに見えてイライラって  
いうか…嫉妬しちゃって…

それじゃあこの指輪に  
先生の精液いっぱい  
かけちゃいましょうか♡  
先生の匂いで夫婦の絆の証…  
上書きしちゃいましょう♡♡

えッ…上書き…  
俺の精液で…ッ…



ああ…先生のザーメン  
が結婚指輪に…♡

夫婦の誓いの象徴に  
先生の子種汁が…っぱい  
絡みついて…

先生の匂いに染め上げ  
られちゃいましたあ♡♡

うふふ♡♡  
ほら見て先生♡♡  
こんなにドロドロ♡♡

夫婦の…あのひととの  
愛…絆の印が先生の生臭い  
精液で塗り重ねられてい…♡





そんな関係が続けていく内に  
伊純さんもどんどん大胆になつて  
どんな要望にも応えてくれた

うふふッ♪  
今日はメイド服ですか？  
こんな漫画のアイデアが  
あるんですか？

すいません…実は伊純さんの  
メイド姿が見たかっただけで…

あら♥それでこんなに  
興奮してるんですか？  
先生…可愛いですね♪



んあッ!?  
伊純さんッ…



ご主人様亀頭責められ  
るの弱いでもんね♪

こうやって亀頭に舌を這わ  
せて激しく舐め上げると  
先生はすぐイッちゃうの♪

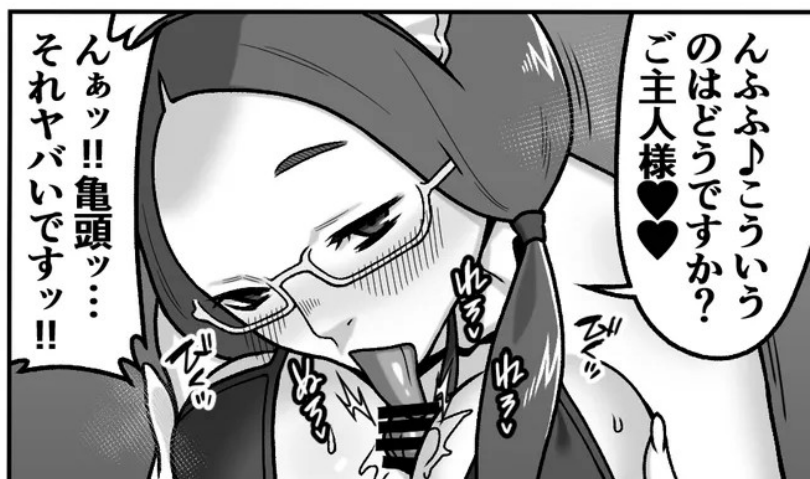


めちやくちや  
気持ち良い…

はあ…はあ…凄く良いです  
伊純さん谷間…あつたかくて  
カウパーと汗でぬめって…



あッ…それされたら  
すぐッ…出ちゃいます  
から…ツツ…!!



んあッ!! 亀頭ッ…  
それヤバイですッ!!

んふふりこういう  
のはどうですか？  
ご主人様♥♥

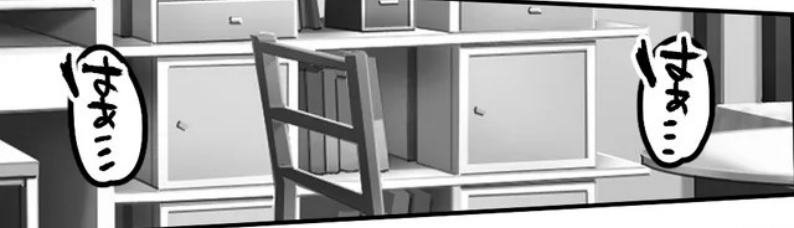
そして先生は私の顔に出すのが興奮するみたいだからこうやって催促してあげると...

ご主人様♥また顔に出して下さい♥♥♥  
いっぱい出して♥♥♥

私の顔にいっぱいかけて...  
精液臭い顔にして下さい♥♥♥

あひッ...  
イクッ...

もお...ッ...  
出るッ!!



今日も沢山出ましたね♥♥♥  
眼鏡にもいっぱい染み  
込んだ♥♥♥

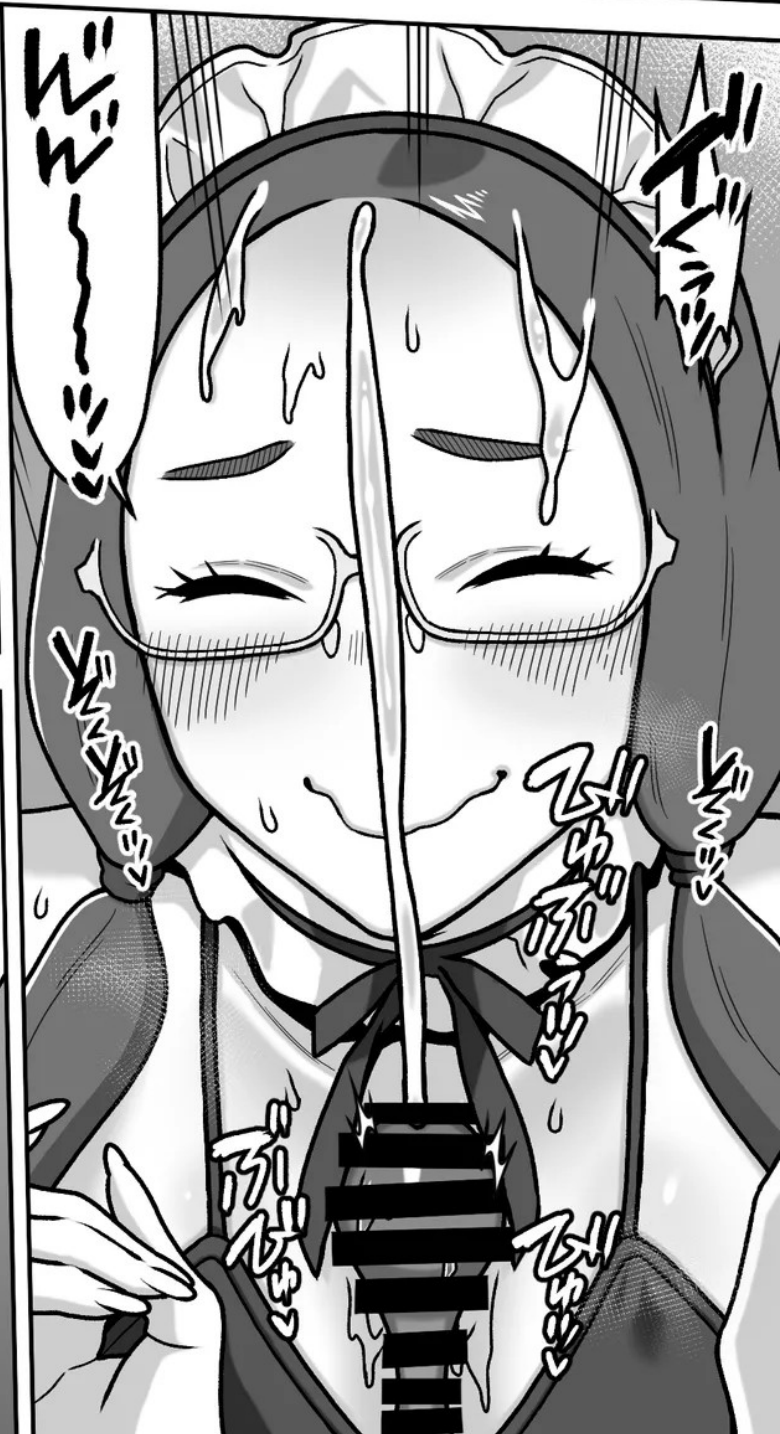
もゆる...

この前なんて家事中に  
眼鏡から精液の残り香が  
してくる事があって  
ドキドキしちゃったん  
ですよ♥♥♥

ご主人様の匂いで  
私も疼いちゃって...  
欲しいです♥♥♥

伊純さん俺...  
また試したい事が...

良いですよ♥♥♥  
何でもして差し  
上げます♥♥♥







それに最近は  
仕事の日  
以外でも――

すいませんー先生  
いらつしやいますか？

あれ？伊純さん  
どうしました？  
今日仕事は無いはず…

あ…先生…  
晩御飯のおかず作り  
すぎちゃってですね…  
よろしければ  
どうかなくて…

え…ええ…  
ありがとうございます  
でも…その格好…

優しくて綺麗で  
何でも応えてくれる  
伊純さん…本当に  
最高だ…!!!





私の全てを知って  
下さってる…全身の匂いも  
味も全部知って下さってる  
先生が良いですッ♥♥



あッ♥♥奥の所  
ゴリゴリされるのッ♥♥  
そこッ♥♥私ッ♥♥

あッ♥♥イクッ♥♥  
私もイクますッ♥♥  
イクッ♥♥



はあ…はあ…今日もいっぱい  
しちゃいましたね♥♥

おかず…また作り  
すぎたら持つて…  
来ちゃいますね♥♥



自己肯定感が上がった伊純さんは更に明るくポジティブになっけいき陽菜ちゃんから色々教えてもらったメイクやヘアスタイルを取り入れた美人度も増し魅力的になっていった

そのせいか家庭内での立場にも変化が起きているようだった

最近どうしたんだ？  
妙に綺麗というか…  
雰囲気が変わったな

え？

前にも言ったでしよ漫画のお手伝いのアルバイト

その陽菜ちゃんって女の子に色々教えてもらって♪

そうなんだよな前に忘れ物届けてくれた事あったじゃんその時クラスの女子が母ちゃんの事美人で羨ましいってよ

今度会いたいとか言われちゃってさ…どうかな？

以前はろくに家にも帰らなかつた夫も最近私を求めるようになってきていた…

なあ…今日もダメなのか？  
やはり…前にとつていた態度の事で…それともあの女の事か？あいつとは別れると言っただろう！

あら？もしかしてその娘の事が好きなのかしら？

うふふ…

!?  
ちッ…  
ちげえし!!

違いますよ夜ふかしは仕事に差し障るから…それに外に女性がいたって私は気にしないって言っているじゃないですか

しッ…  
しかしッ…

それじゃあ  
おやすみなさい

いッ…  
伊純…ッッ

以前は私の事を邪魔者の様に  
扱った男の悔しがる顔…その様は  
滑稽で私の胸をスツとさせた

息子も私にせがんで同じクラスの  
女の子と連絡先を交換させてきた  
どうやら本当にその娘が好きらしく  
私づつてに関係を深めたいみたい…

でもそんな家の男達の  
事は今の私にとって  
どうでも良くなっていた

何故なら私には今私を  
必要としてくれて…私に  
とっても必要な居場所が  
あるから…

今日の伊純さんの服…何か  
いつも以上に色っぽいなって…

最近の私は前以上に先生が好むような…  
先生を誘うような格好で  
職場に行くようになっていた

この服ですか？

うふふ…どうしました  
先生？さっきから  
チラチラと私を見て♪

えッ…あ…いえ…



だって先生の作品を見ると  
『腋』お好きなんだって思いまして  
だから先生の好きそうな服を…  
あとこういうのとか…♪

え…伊純さん…  
腋毛…!?

そういえば家に来た時は  
カーディガン着てたから  
気付かなかった…

はい…以前私のはしたない  
所お好きっておっしゃって  
たでしょ?だから先生の為に  
処理せずに…♥

私を見てHなアイデア  
沢山出して頂けたら…  
試して頂けたらなって♥♥

い…伊純さん…  
そんな格好されたら  
お…俺…

ガクッ…

伊純さんの腋…  
甘酸っぱい匂いが  
して最高ですッ…

あっ

ももも

ももも

腋毛も…こんな綺麗な  
伊純さんとのギャップで  
卑猥すぎるッ…

はい…♥♥♥  
どうぞ♥♥♥

私なら  
いつでも♥♥♥

んッ♥嬉しいッ♥私…先生に見て  
欲しくていっぱいおしゃれして  
綺麗になろうと思って…だから  
沢山私の事求めて下さいね♥♥  
私の全身は先生のなんですから♥♥

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

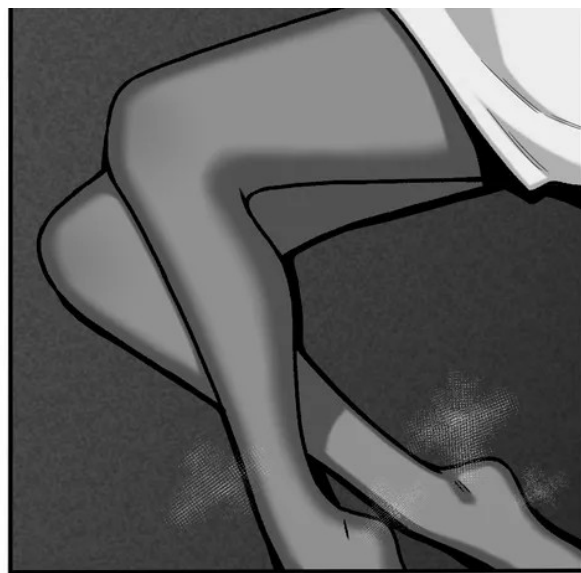
伊純さん…  
可愛すぎますッ…!!





凄く色っぽい...

伊純さんの  
ストッキング  
履いた脚...



おおお

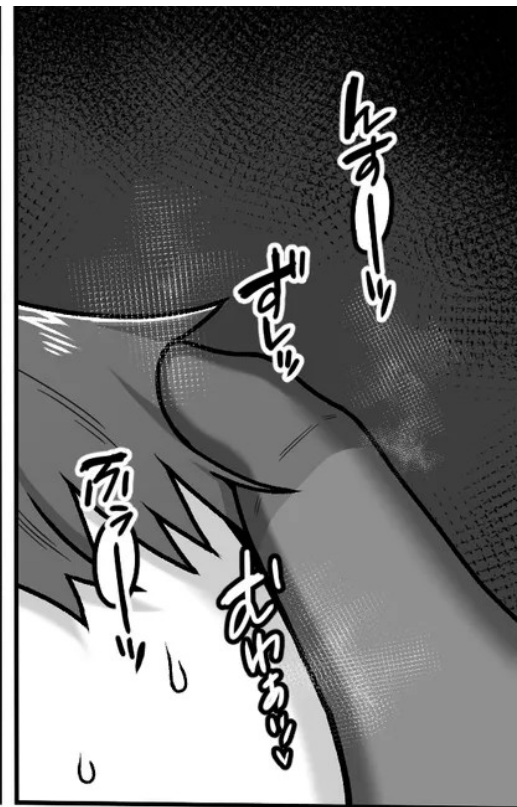
はい...どうぞ  
先生になら



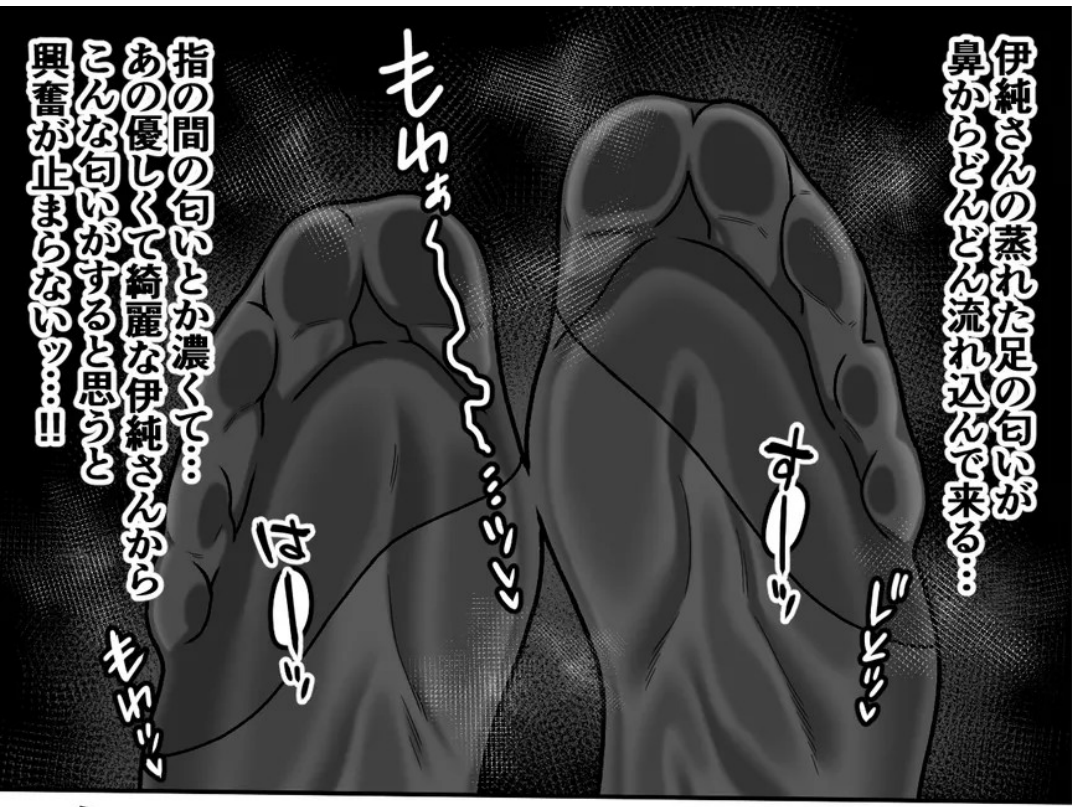
うふふふ

うふふふ

私の全部...心ゆくまで  
堪能して下さい



伊純さんの蒸れた足の匂いが  
鼻からどんどん流れ込んで来る…



指の間の匂いとか濃くて…  
あの優しくて綺麗な伊純さんから  
こんな匂いがすると思うと  
興奮が止まらないッ…!!



先生の吐息…凄くて  
足の指の間くすぐったいッ。  
でもこんなに一生懸命私の  
匂いを求めている先生…可愛い♡



そんなに私の足  
好きですか?

それじゃあ…



こういうのは  
いかがですか?

んああッ…!!

伊純さんの足裏で…まるでほんとに  
手を当てるみたいに挟まれて…  
凄に興奮するッ…

あつたかくてしつぽりして…  
それに顔全体が匂ひにつつまれて…

ああ…すりすりやばい…  
足の裏で両頬を撫で  
回されて…まるで…

足裏に頬ずり  
されてるみたいなの…  
俺…もうッ…

うふふ…先生の顔…  
うっとりして気持ち  
良さそう♥でももう  
我慢出来ないんじゃないですか？

伊純さん…  
伊純さんの股間…  
濡れて染みが…

今もなるべく平静を  
装ってますけど本当は  
めちゃくちゃ『犯して』  
欲しくって…♥♥

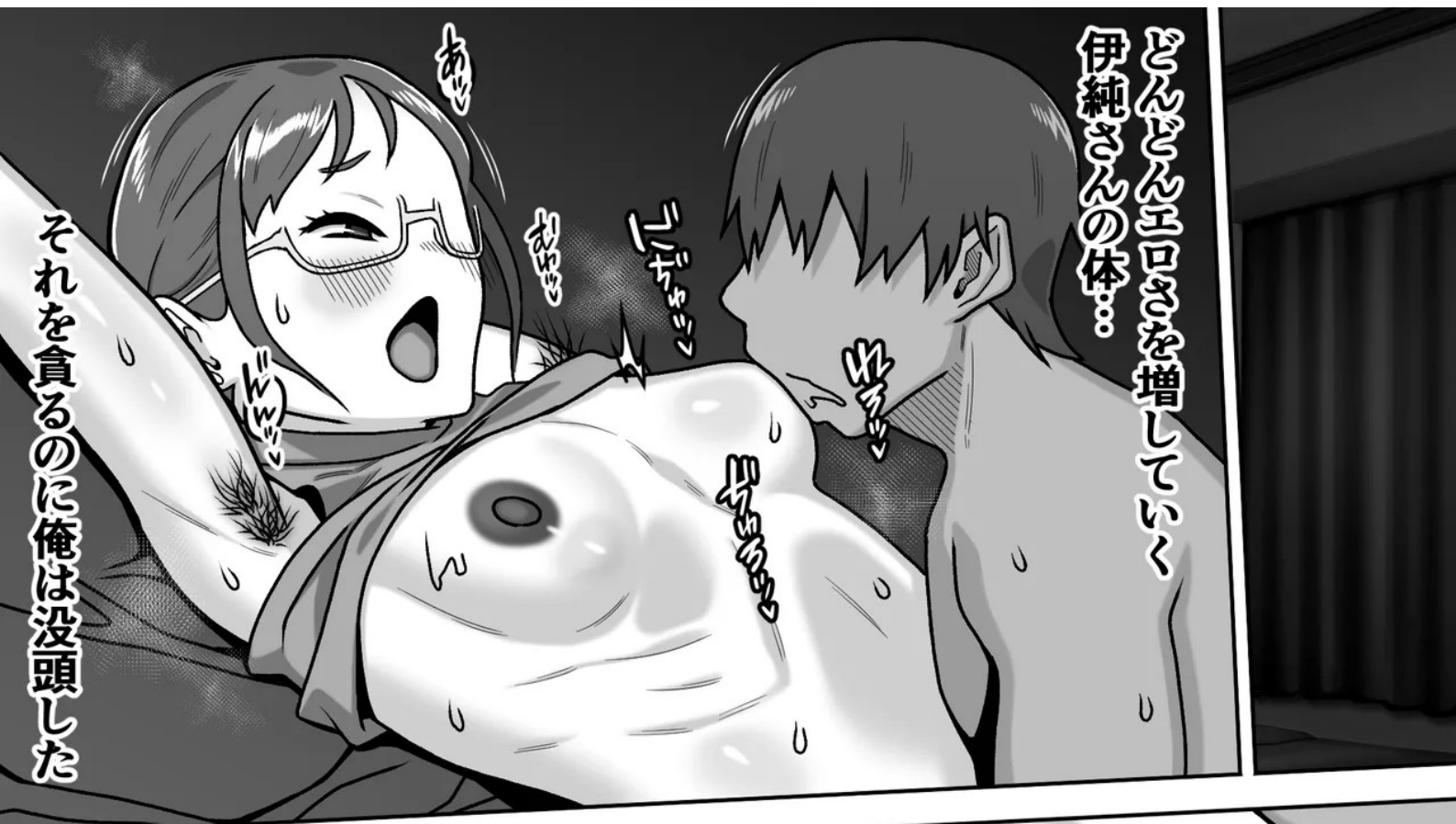
はい…♥  
朝からずっと先生に  
して欲しくて…

犯して…

先生…

下さ♥♥





どんどんエロさを増していく  
伊純さんの体…

それを食べるのに俺は没頭した



伊純さんの体…汗で  
ヌラヌラ光ってて

あはっ

めちやくちやエロくて  
魅惑的すぎるッ!!

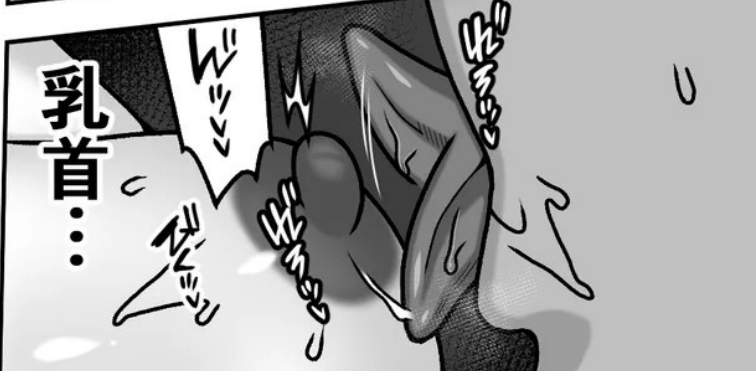
せ…



肌…



腋…



乳首…



せ…  
先生ッ…♡

んッ…  
伊純さんッ…

先生の汗も…  
おいし…♡

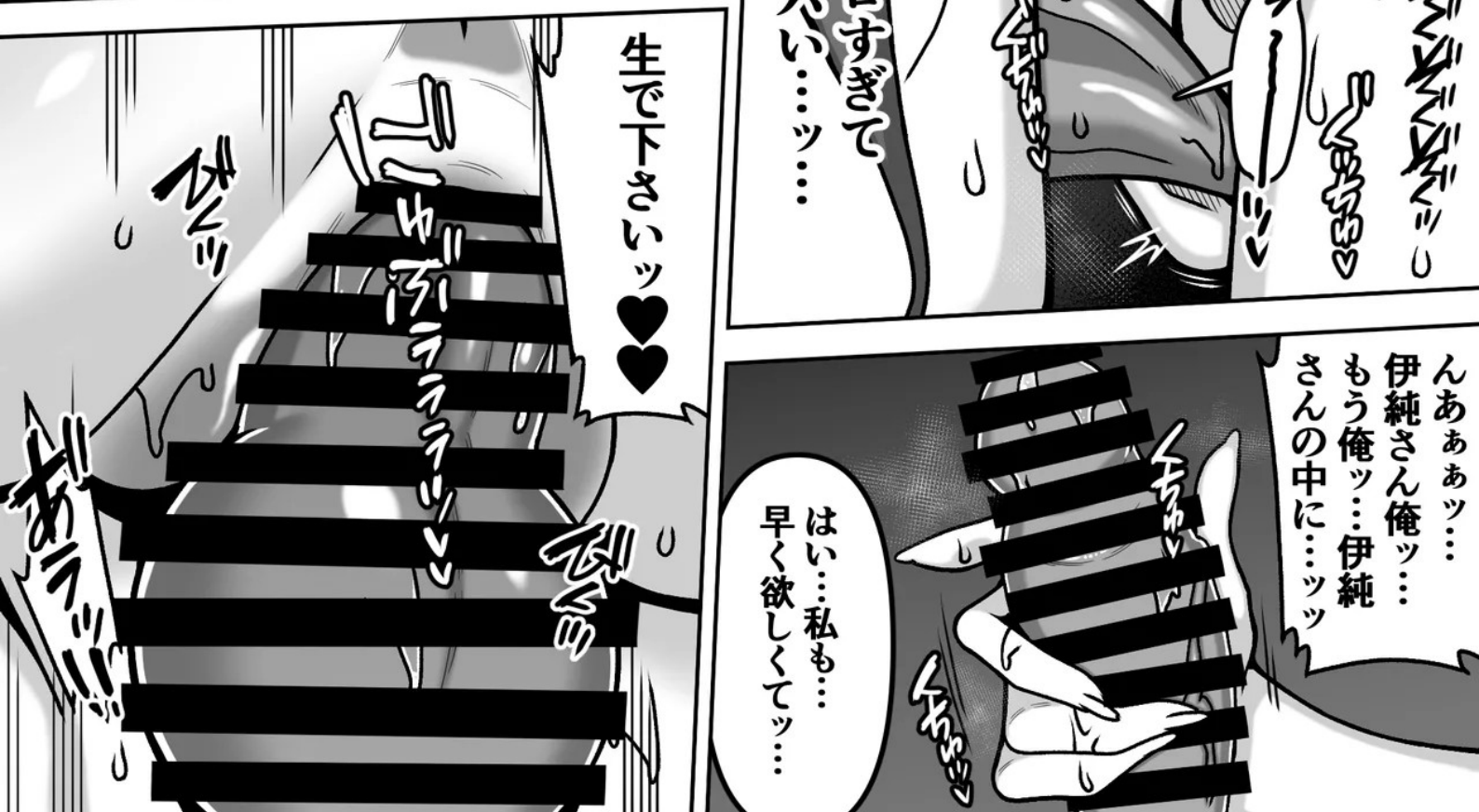


犯してって言ったのに  
伊純さんも…めちゃうくちゃ  
貪欲に俺を求めてくる…

エロすぎて  
ヤバイ…ッ…

もうゴムとか  
いらないので…

生で…



んあああッ…  
伊純さん俺ッ…  
もう俺ッ…伊純  
さんの中に…ッッ

はい…私も…  
早く欲しくてッ…

生で下さ…♡♡

快楽に浸り動物のような  
嬌声をあげて腰を打ち付けてくる  
伊純さん…

その普段とのギャップ…下品さに  
俺は更に興奮を覚える…

先生…好きですッ  
大好きッ♥♥♥

鼻と口から流れ込んで  
くる彼女の吐息に

頭がクラクラして  
脳が痺れる…

下品な声上げて乱れる  
伊純さんエロすぎです…ッ  
腰…止まんないッ…!!

下品な私…  
好きですか？  
私の下品な姿…

もっと見て…沢山  
興奮して下さい♥♥♥



あッ…それエロ  
すぎですッ…  
腋毛も凄く卑猥で…



俺ッ…  
もう俺ッ…!!

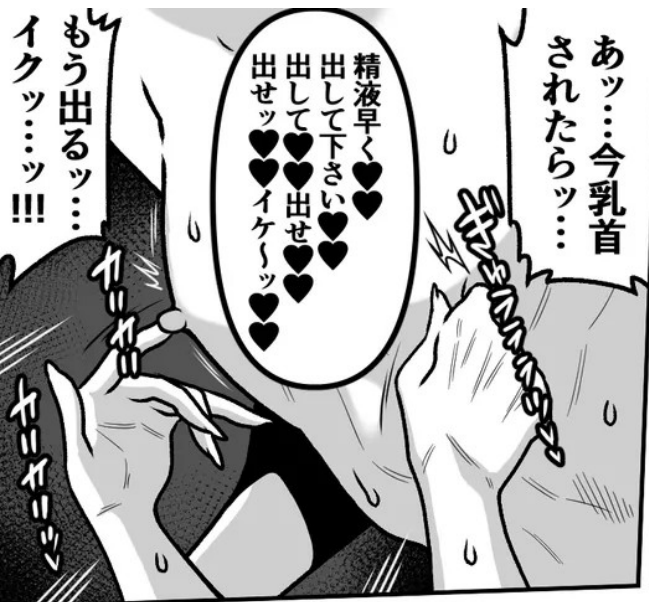
はあ…はあ…  
良いですよ♡♡

私の中に先生の…  
生で全部出して  
下さい♡♡



あッ…今乳首  
されたらッ…

精液早く♡♡♡  
出して下さい♡♡♡  
出して♡♡♡出せ♡♡♡  
出せッ♡♡♡イケッ♡♡♡



出るッ♡♡



肉欲全開で交わり合う  
快楽と幸福感…

ここには人として…女として…  
私に充実をくれる空間がある…  
ここが私の本当の居場所…

幸せえ…♡♡



ああ…先生の  
精液で私の中  
満たされてる…

私は先生達のおかげで  
自身を取り戻す事が出来たし  
順調に貯蓄も増えていき  
生活力も得られた…

そして運命の日を迎えるのだった――

それはあの男とその  
息子が夜まで家を  
空けた日に実行された…

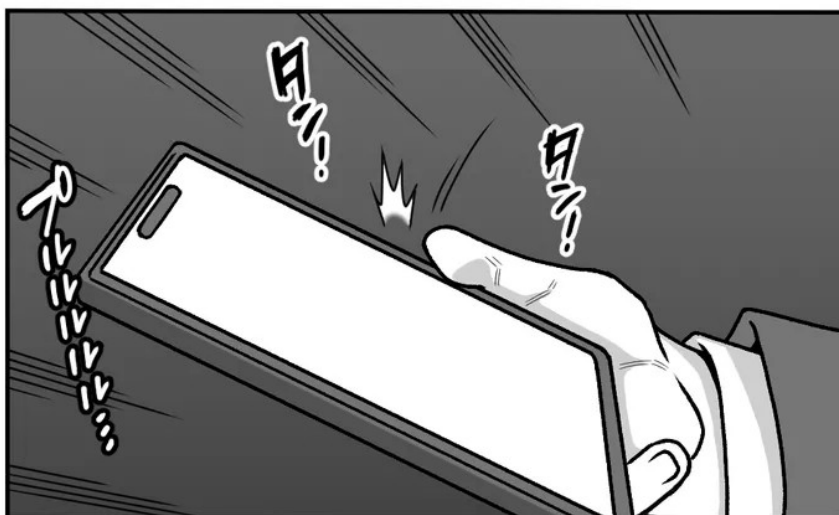
おーい帰ったぞ！

あゝ疲れた…  
俺も帰ったよー

おい伊純!!  
いないのか!!

!?

な…何だ  
これは…!?



お前の荷物だけが  
無くなって…一体  
これはどういう事だ!?

もしもしじゃない!!  
何だこの部屋は!!

はい――  
もしもし?

どうって…元々あなたが  
私に要求した事じゃ  
ないですか…

なっ…何!?





ふう…断捨離も  
済ませられた  
事だし…

これからは今まで以上に  
心置きなくイチチャイチヤ  
出来ますね♥♥

伊純の事たあ〜くさん  
可愛がって下さいね♥♥  
あ・な・た♥♥

